

施策案に対する意見等の概要と意見等に対する市の考え方

番号	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
1	<p>人口減少が進む中、まず基盤となる住宅、市営住宅を増やすことは歯止めになり、市の発展につながると信じます。常識を超えた提案で、所得には関係なく借りられ、家賃も可能な限り0(ゼロ)に近づける。まずは住んでもらえば経済的に活性化でき、あらゆる方面で市に元気がでます。例が適当かどうか携帯電話も無料で持ってもらうなんぼの考えで、まずは住んでもらえればプラス面が多いという発想です。理想かもしれませんが、入居率72.2%でなく、100%で待っている人が多いぐらいにはならなくてはいけないのではないのでしょうか。住宅にはお金をかけたくないと考える人は沢山います。角度を変えて価値観の意識改革をすると画期的な発想が生まれるかもしれません。もちろん、高齢者が増えていくため、これに配慮した住宅の整備・改善、居住ニーズに対応した施策が必要です。藪塚地区も大原団地と三島団地を統合し、三島団地に戸数を縮小して整備してもらってありがたい事ですが、藪塚地区は人口が増えています。増加してもらえれば、より活性化すると思います。</p>	<p>公営住宅は、住宅に困窮する方へ低廉な家賃で賃貸することで安定した生活を送っていただくことを目的として公営住宅法に則り整備しています。しかしながら、人口減少や高齢化の進行による社会構造の変化を受け、今後の公営住宅のあり方や管理戸数の縮小など、転換期であると捉えています。</p> <p>今後は、本市における人口推移や既存公営住宅の利活用のあり方等を考慮し、公営住宅を本当に必要とする方へのセーフティーネットとする役割を果たすと共に、いただきましたご意見もひとつの柔軟な施策として参考にさせていただきながら、本市への定住のきっかけとなることも図っていきたいと考えています。</p>